



PARAMOUNT BED
HOLDINGS

2020年3月期 決算説明会

2019年4月1日 ~ 2020年3月31日

2020年5月25日

証券コード：7817

パラマウントベッドホールディングス株式会社

as human, for human

新型コロナウイルスの影響

生産面に一部遅れがみられるも現在の影響は軽微。
営業面で期末の繁忙期に医療・介護施設からの納入遅延要請が発生。
今後も営業活動・納品活動等への影響を注視する必要あり。
今期見通しの公表を延期。

2020年3月期決算

各分野で概ね予算通りの売上。
製商品ミックスの変化と人件費・運送費の増加等により営業減益。

パラマウントビジョン2030

新中期経営計画策定

2030年に向けた長期ビジョンと新しい中期経営計画（3カ年）を策定。
現行ビジネスの拡大、健康事業本格化、変革への基盤整備、へ注力。
新型コロナウイルスの影響により数値計画の公表を延期。

生産面の影響

中国工場が2月に一時操業停止も同月中に操業許可が下り3月に再開。
日本の工場でも仕入部材調達に遅れがみられるも大きな影響にはならず。

営業面の影響

3月より、医療施設・高齢者施設から納入延期の要望が発生。
在宅介護の現場でも、要介護認定やケアプラン作成に遅れ。
国内外の自治体や関係機関・施設から要請や問合せがみられるも
全体としてはマイナス面の方が多い状況。

医療・介護体制維持への貢献を目指す

社内外への感染防止、従業員の安全確保を最優先に
政府・自治体の方針に基づき、迅速に対応。

1. 2020年3月期 決算概要
2. 事業会社別概要
3. 中期経営計画

1. 2020年3月期 決算概要

1-1. 決算概要

増収減益決算

期末に納入延期要請が発生。製商品ミックスが変化。前期特損の反動で最終増益。

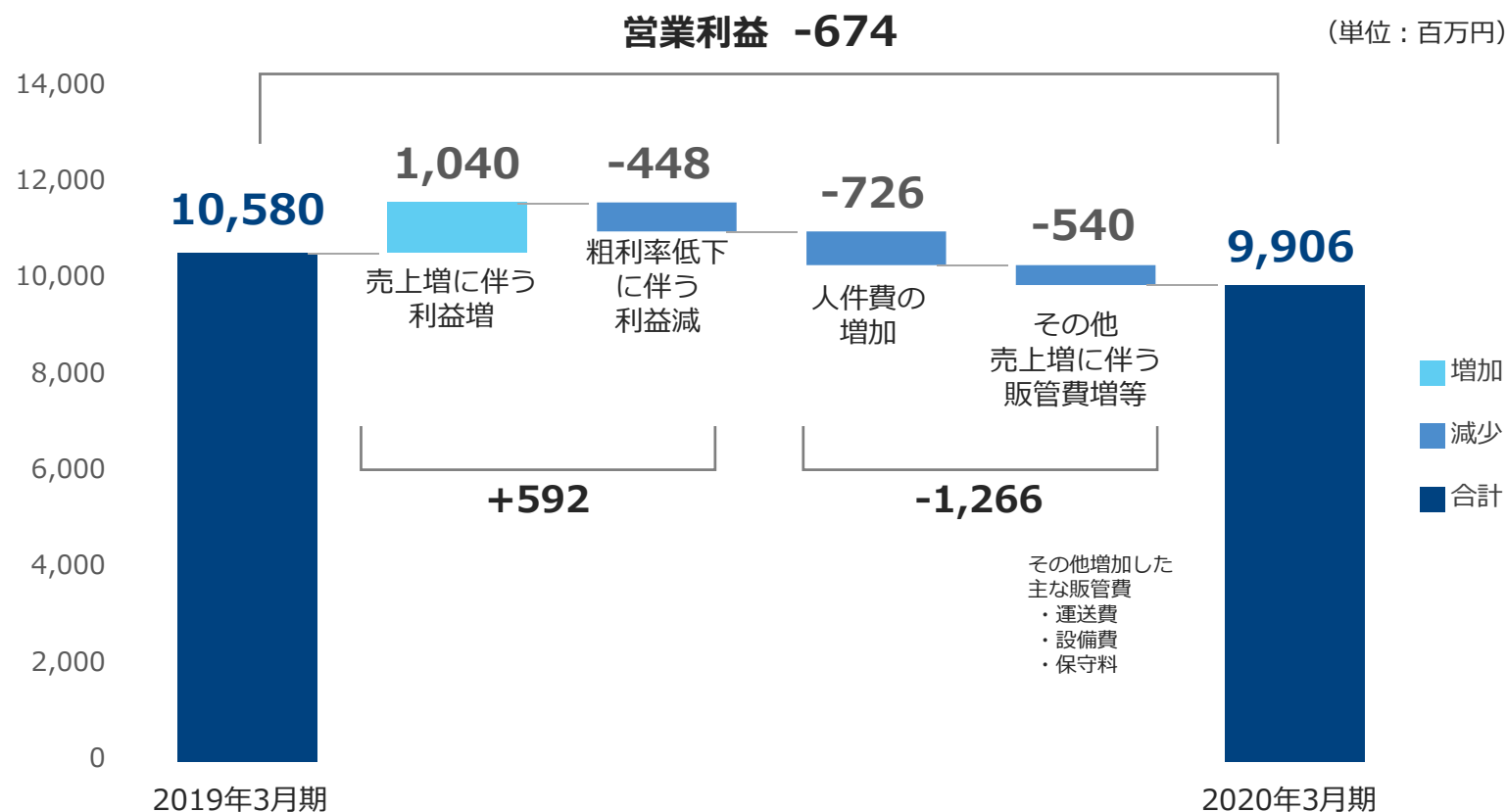
(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期			
	実績	予算	実績	予算比	前期比
売上高	80,088	83,000	82,379	-0.7%	+2.9%
営業利益 (営業利益率)	10,580 (13.2%)	11,000 (13.3%)	9,906 (12.0%)	-10.0%	-6.4%
経常利益 (経常利益率)	10,923 (13.6%)	11,400 (13.7%)	10,145 (12.3%)	-11.0%	-7.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	6,704 (8.4%)	7,800 (9.4%)	7,043 (8.5%)	-9.7%	+5.1%
年間配当金	100円	-	100円	-	0%

1-2. 営業利益増減要因

製商品ミックスの変化により粗利率低下 販管費は人件費・運送費等が増加

人件費の増加はメンテナンス、レンタル卸、中国が中心。



1-3. 財務の状況

自己株式の取得により、流動資産が減少

固定資産は営業支店の移転、新マットレス工場、レンタル資産の増加等。

(単位：百万円)

	2019年3月末	2020年3月末	増減額	前期比
流動資産	81,212	76,848	-4,362	-5.3%
固定資産	62,794	67,409	+4,615	+7.3%
資産合計	144,006	144,257	+251	+0.2%
流動負債	21,209	22,212	+1,003	+4.7%
固定負債	14,554	14,978	+424	+2.9%
負債合計	35,764	37,191	+1,427	+4.0%
純資産	108,242	107,066	-1,176	-1.1%
負債・純資産合計	144,006	144,257	+251	+0.2%

1-4. 設備投資等

減価償却はレンタル資産が引き続き増加

主な設備投資は新マットレス工場、営業支店の移転、システムインフラ等。

(単位：百万円)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 予算
設備投資費	2,220	2,082	3,984	3,371
減価償却費	5,859	6,362	6,895	7,215
研究開発費	1,589	1,642	1,677	1,814
従業員数	2,925	3,224	3,494	-

2. 事業会社別概要

2-1. パラマウントベッド

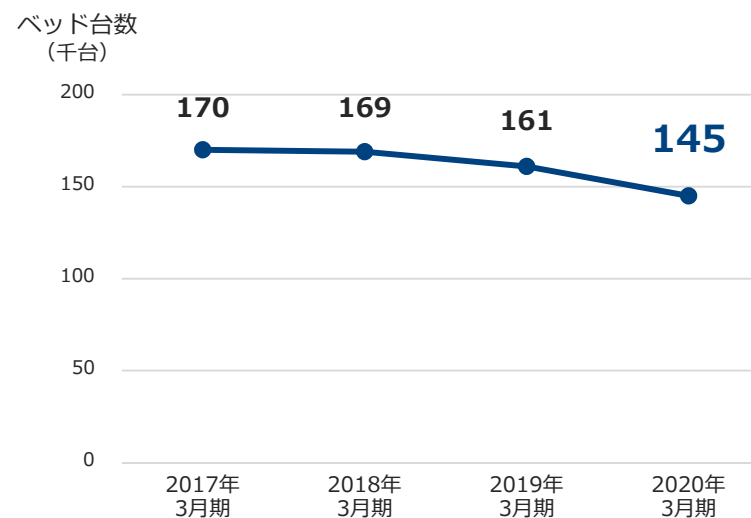
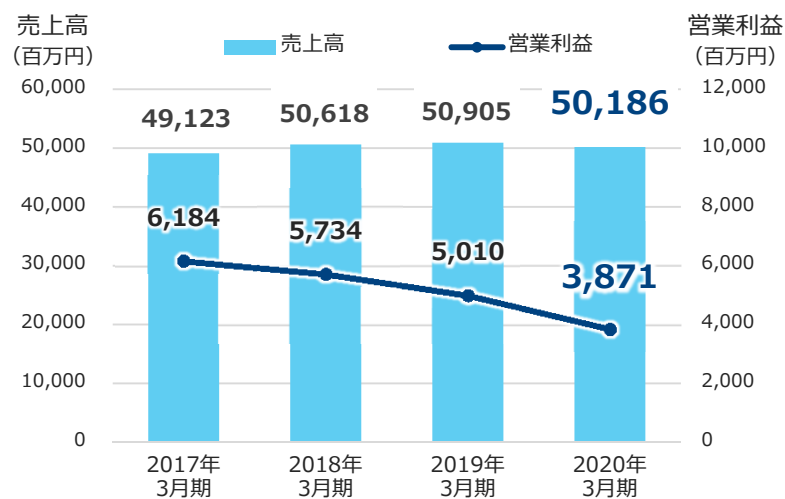
売上高 ほぼ前期並みにとどまる

- 期末に製品納入の延期要請が発生。

営業利益 減益

- 製品ミックスの変化による粗利率低下。
- グループ内人事異動による販管費増。

(単位：百万円)	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年3月期			
				予算	実績	予算比	前期比
売上高	49,123	50,618	50,905	52,112	50,186	-4%	-1%
営業利益	6,184	5,734	5,010	5,064	3,871	-24%	-23%
(単位：千台)							
ベッド販売台数	170	169	161	162	145	-10%	-10%



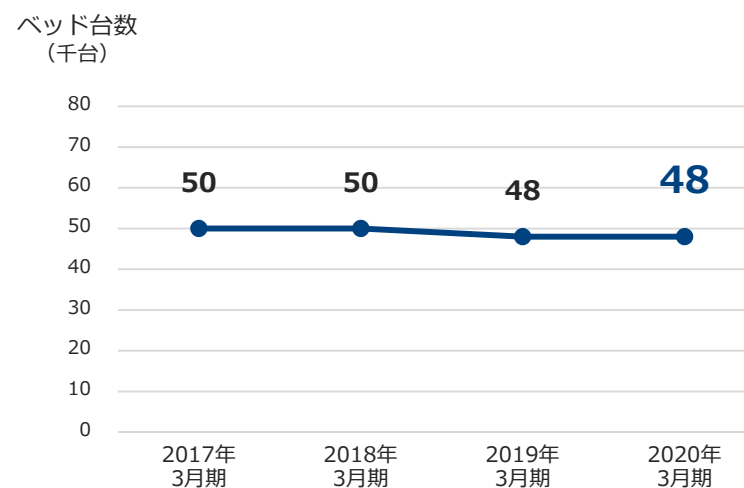
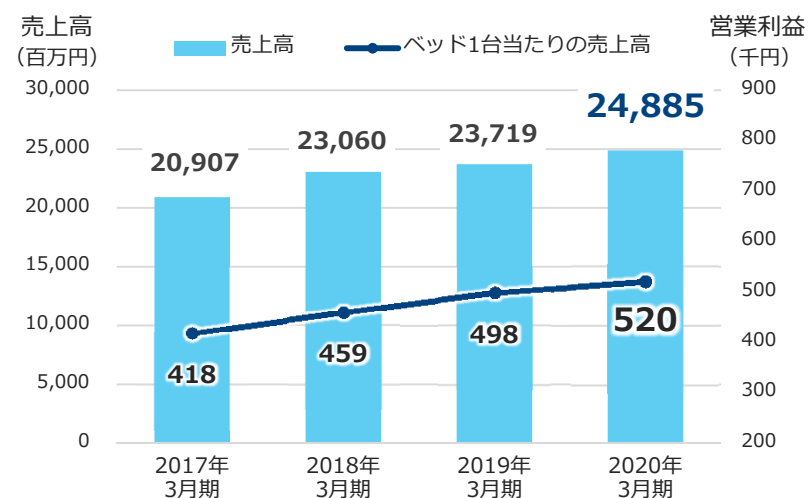
※ 上記数字は連結調整前のものです。

2-2. パラマウントベッド／医療施設向け

病室リフォームや病棟・病室備品等が増加

期末予定のスマートベッドシステム案件が延期に。

(単位：百万円)	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	前期比
売上高	20,907	23,060	23,719	24,885	+5%
(単位：千台)					
ベッド販売台数	50	50	48	48	+0%
(売上高÷ベッド販売台数 単位：千円)					
ベッド1台当たりの売上高	418	459	498	520	+4%



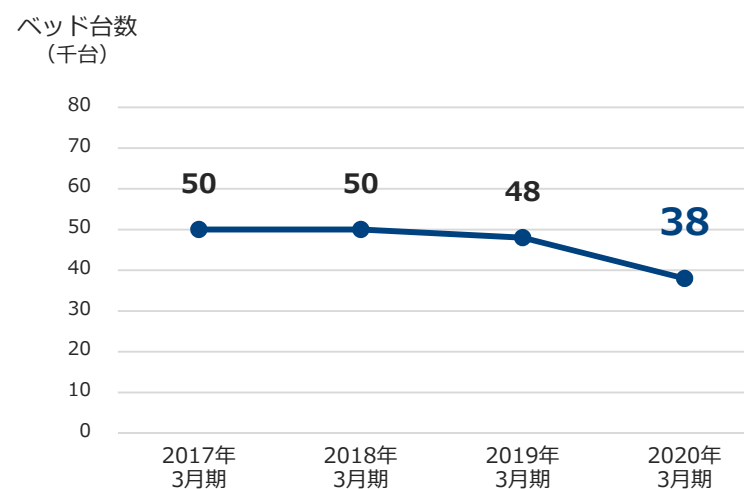
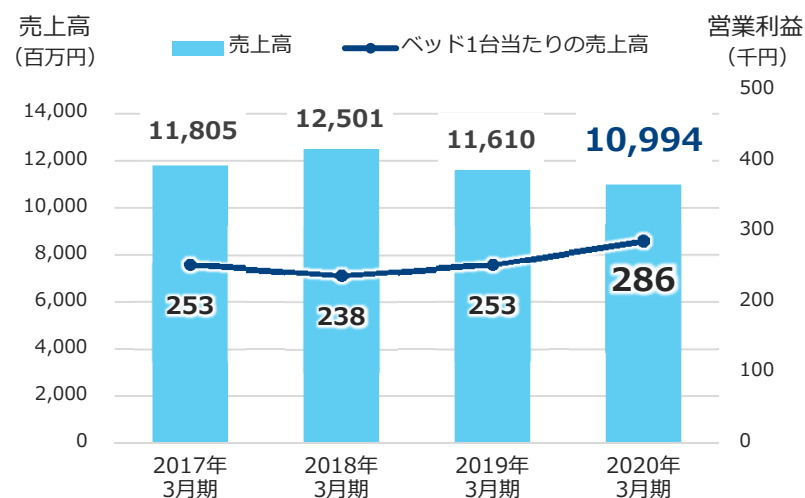
※ 上記数字は連結調整前のものです。

2-3. パラマウントベッド／高齢者施設

引き続き新設案件が減少

納入延期要請が発生。「眠りSCAN」の販売は約4割増。

(単位：百万円)	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	前期比
売上高	11,805	12,501	11,610	10,994	-5%
(単位：千台)					
ベッド販売台数	47	53	46	38	-16%
(売上高÷ベッド販売台数 単位：千円)					
ベッド1台当たりの売上高	253	238	253	286	+13%



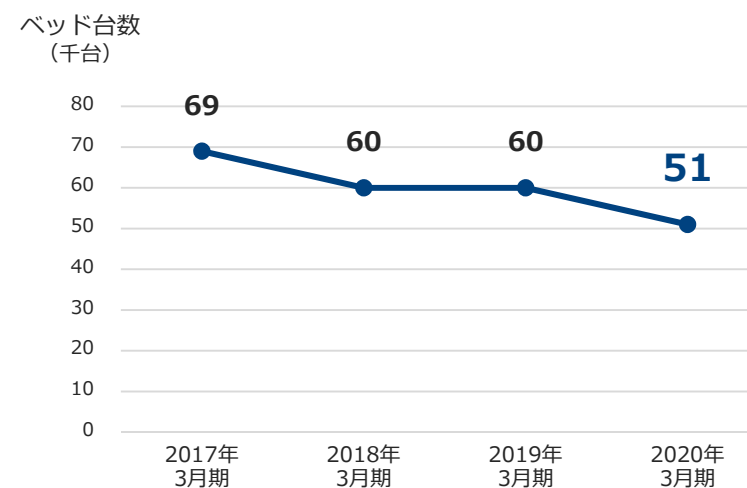
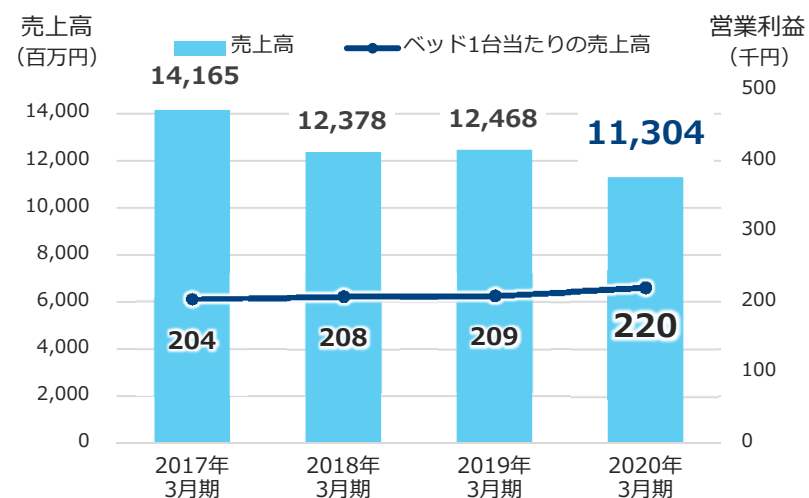
※ 上記数字は連結調整前のものです。

2-4. パラマウントベッド／在宅介護

売上高・販売台数ともマイナス

主力モデルの販売期間が長期化。

(単位：百万円)	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	前期比
売上高	14,165	12,378	12,468	11,304	-9%
(単位：千台)					
ベッド販売台数	69	60	60	51	-14%
(売上高÷ベッド販売台数 単位：千円)					
ベッド1台当たりの売上高	204	208	209	220	+5%



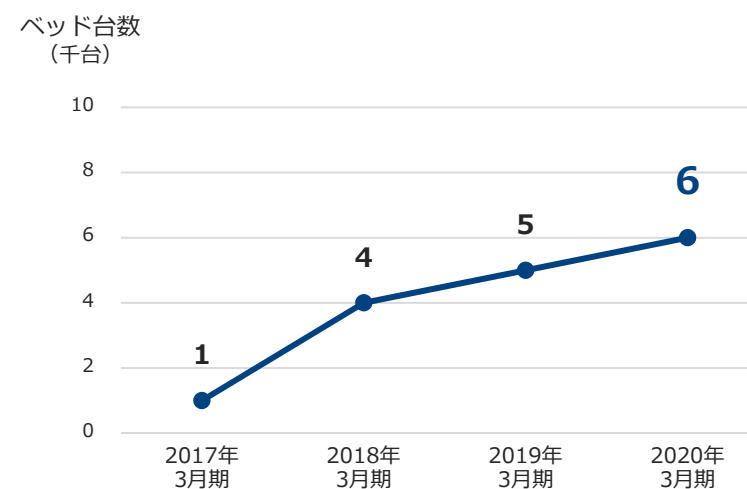
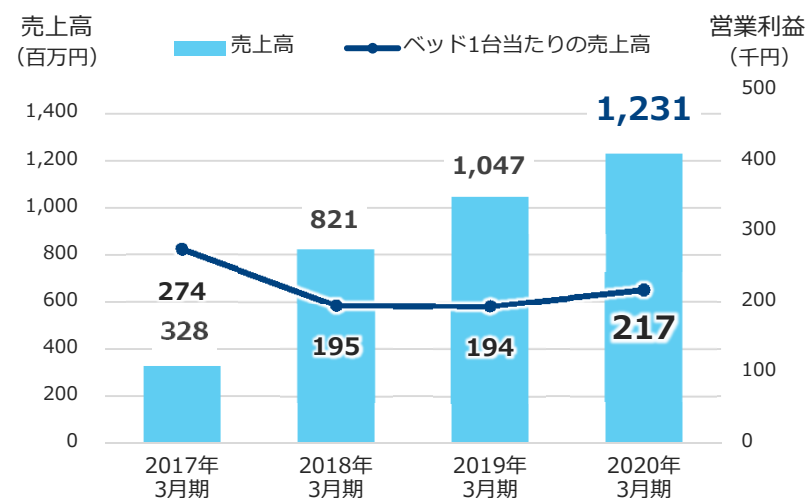
※ 上記数字は連結調整前のものです。

2-5. パラマウントベッド/コンシューマー

新ブランド「アクティブスリープ」を投入

売上増も目標には届かず。

(単位：百万円)	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	前期比
売上高	328	821	1,047	1,231	+18%
(単位：千台)					
ベッド販売台数	1	4	5	6	+5%
(売上高÷ベッド販売台数 単位：千円)					
ベッド1台当たりの売上高	274	195	194	217	+12%



※ 上記数字は連結調整前のものです。

2-6. パラテクノ

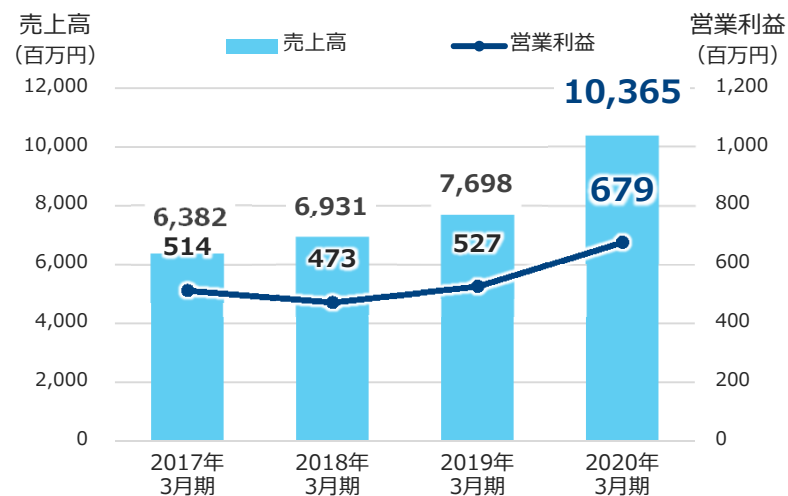
売上高 前期比大幅増

- 常駐業務、リースレンタル等が拡大。
- テレビシステム事業子会社を合併。

営業利益 前期比約3割増

- 人件費等販管費が増加。

(単位：百万円)	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年3月期			
				期初予算	実績	予算比	前期比
売上高	6,382	6,931	7,698	10,500	10,365	-1%	+35%
営業利益	514	473	527	805	679	-16%	+29%



※ パラテクノは2019年4月1日付で、テレビシステム事業尾行う子会社（2019年3月期売上高2,030百万円、営業利益239百万円）を吸収合併しました。

※ 上記数字は連結調整前のものです。

2-7. パラマウントケアサービス

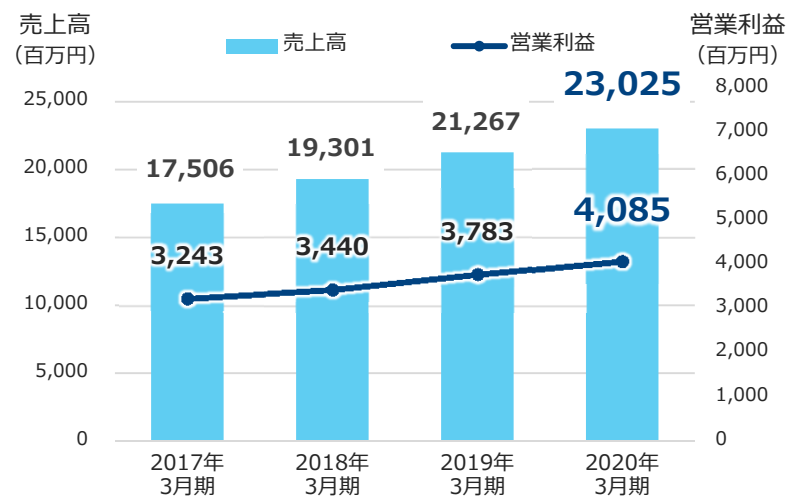
売上高 順調に成長

- 引き続きシェアを拡大。

営業利益 増益基調維持

- 人件費増や増税前に備品関係を購入。

(単位：百万円)	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年3月期			
				期初予算	実績	予算比	前期比
売上高	17,506	19,301	21,267	23,000	23,025	+0%	+8%
営業利益	3,243	3,440	3,783	3,965	4,085	+3%	+8%



※ 上記数字は連結調整前のものです。

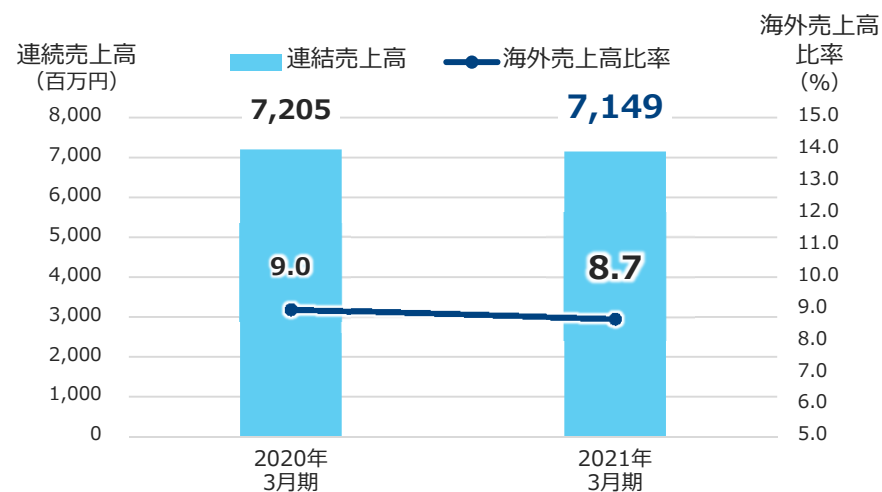
2-8. 海外

トータルではほぼ前期並み、予算通りの着地

その他アジアではタイ、インドが堅調。

(単位：百万円)	2019年 3月期	2020年 3月期	前期比
海外連結売上高	7,205	7,149	-1%
海外売上高比率	9.0%	8.7%	-
グループ海外売上高	8,183	8,131	-0%

※「グループ海外売上高」には、非連結子会社の数字も含まれています。



地域別海外連結売上高

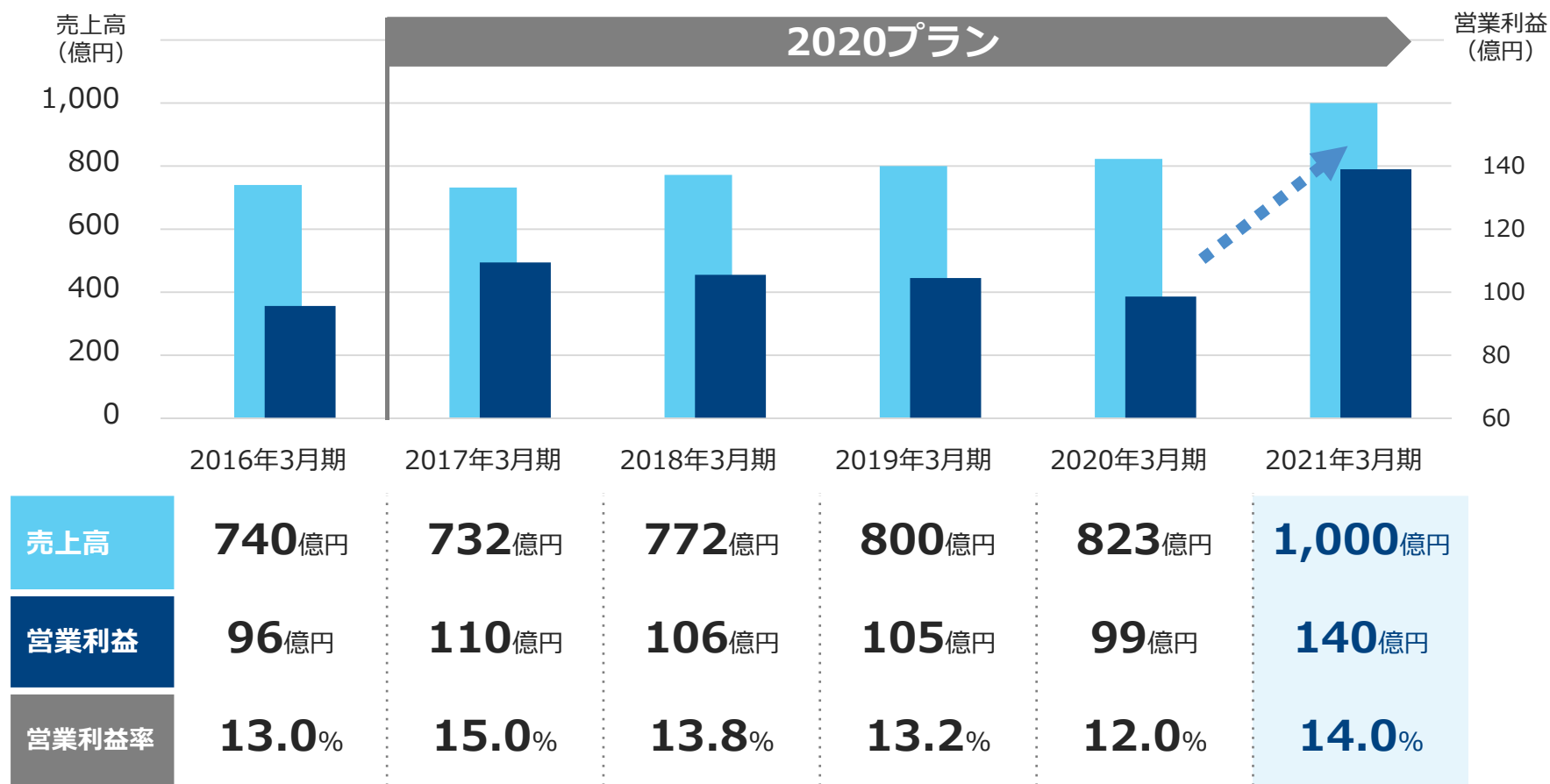
(単位：百万円)	2019年 3月期	2020年 3月期	前期比
アジア	6,099	6,429	+5%
インドネシア	1,999	2,343	+17%
中国	2,179	2,157	-1%
その他アジア	1,920	1,928	+0%
中東	339	150	-56%
中南米	723	418	-42%
その他	44	152	+245%

※ 上記数字は連結調整後のものです。

3. 中期経営計画

3-1. 前中期経営計画「2020プラン」の振り返り①

売上・利益共に目標達成は難しい状況



3-2. 前中期経営計画「2020プラン」の振り返り②

既存事業はメンテ・レンタル等堅調もベッド製造販売は減少
海外事業は伸ばした地域もあるが全体的には見通しに甘さ
新規事業は積極的に取り組み成果が出始める

事業別売上高

	2016年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期 目標
既存事業	669億円	669億円	700億円
海外事業	72億円	71億円	200億円
新規事業	0億円	82億円	100億円

振り返り

- メンテナンス・院内サービス・福祉用具レンタル卸は堅調に拡大
 - ・一方、福祉用具レンタルの上限価格導入
- 医療・介護のベッド製造販売は減少傾向
 - ・消費増税等で病院経営が悪化しベッド等への設備投資が減少
 - ・高齢者施設は建設費高騰と介護人材不足で新築が鈍化
- インド・タイ トップ病院納入、知名度アップ
- インドネシア 国民皆保険が始まるも保険財政が逼迫
- 中国 都市/地方格差、高齢者ビジネスは今後
- 中南米 政情不安定
- フランス 経済停滞で撤退
- スマートベッドシステム 14病院に納入、眠りSCAN累計販売 4.7万台販売
- Active Sleepブランド立ち上げ
 - 睡眠にIoT、新たな時代への第一歩を踏み出す
- M&A：TVシステム・木製家具
 - 快適なヘルスケア環境の提供に向けて提案の幅を拡張

3-3. 事業環境の変化

人口構造の変化

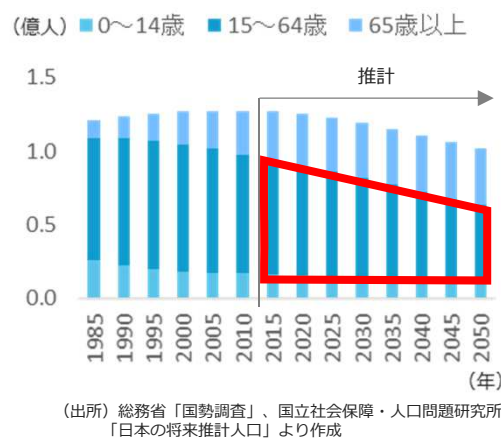
- 日本と世界の高齢化・長寿化
- 人口減・労働者不足
- アジアの成長

価値観の変化

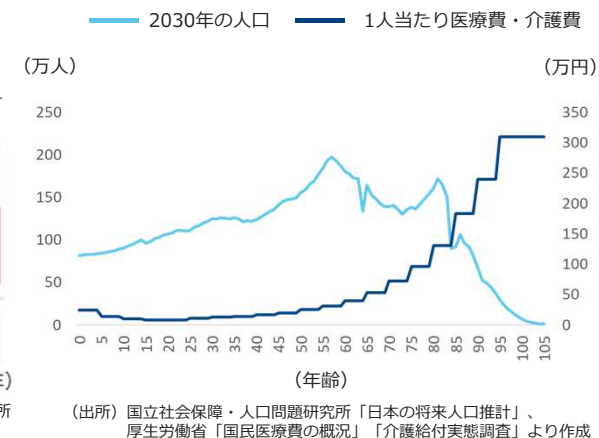
- ダイバーシティ
- ワークライフバランス
- 働き方変化
- ESG・SGDsへの取り組み

健康志向の高まり

生産年齢人口減少



「予防」「健康増進」の重要度増



デジタル技術の進化

- IoT・AI・5G
- プラットフォーム型
- 異業種連携

医療の世界

- 医療保険財政圧迫
- 地域医療構想による病院間連携
- 看護スタッフ不足
- アウトカム評価

介護の世界

- 介護保険財政圧迫
- 施設・在宅の中間的施設増加
- 介護スタッフ不足
- 介護データベース

将来的には **「医療・介護・健康のデータ連携」**

3-4. 新しい長期ビジョンと中期経営計画①

企業理念

企業理念

先進の技術とやさしさで
快適なヘルスケア環境を創造します

ステートメント

as human, for human

ビジョン

パラマウントビジョン2030

「医療」「介護」から「健康」まで
すべての人に笑顔を

中期経営計画

第Ⅰフェーズ

2023年3月期までの計画

「現行ビジネス拡大」
「健康事業本格化」
「変革への基盤整備」



3-5. 新しい長期ビジョンと中期経営計画②

パラマウントビジョン2030

「医療」「介護」から「健康」まで すべての人に笑顔を

第Ⅰフェーズ
中期経営計画
(2020-2022)

第Ⅱフェーズ
(2023-2025)

第Ⅲフェーズ
(2026～)

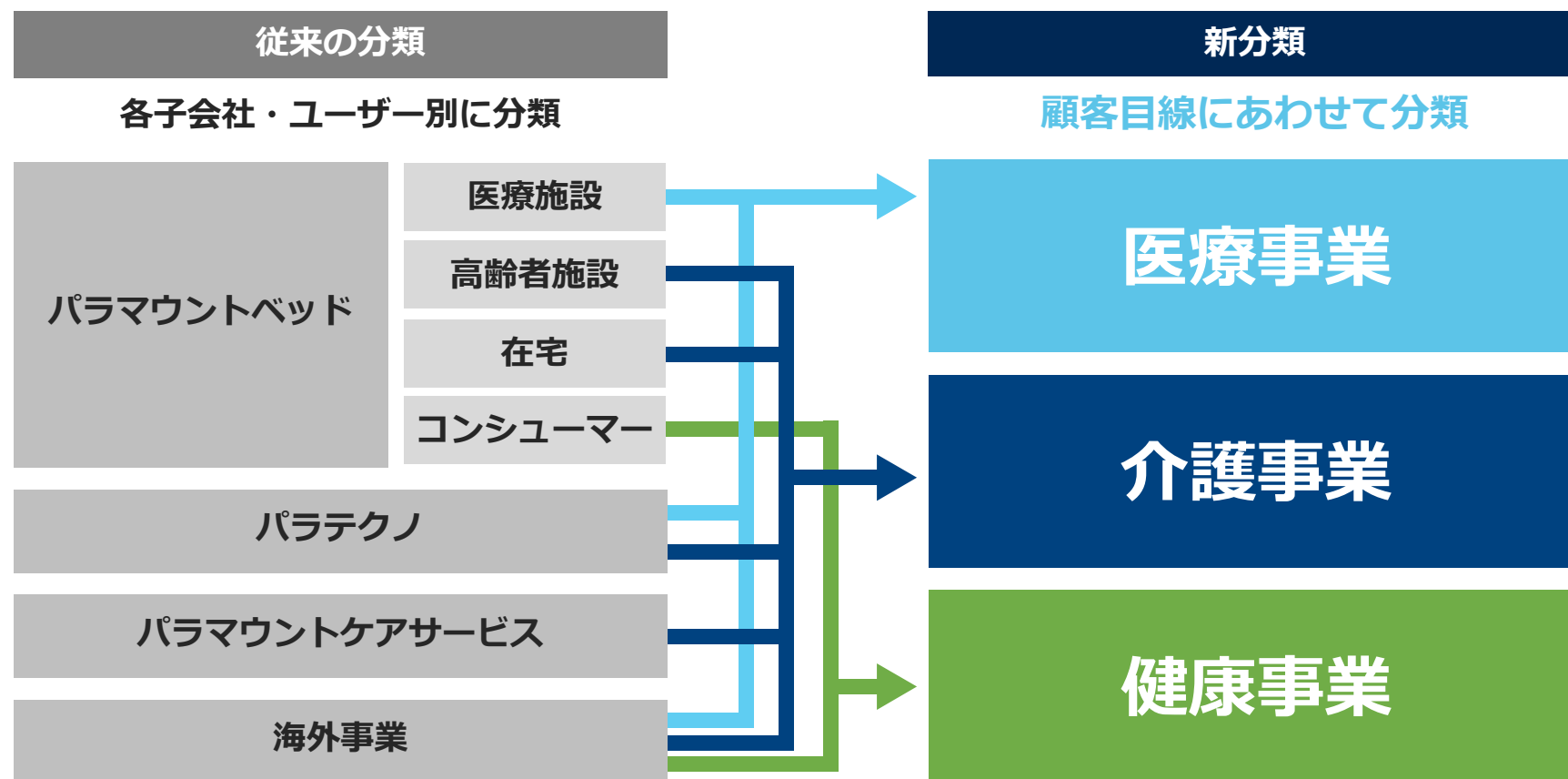
「現行ビジネス拡大」
「健康事業本格化」
「変革への基盤構築」

SDGsや社会貢献への取り組み、人材基盤強化・基幹システム刷新

3-6. 新中計における分類の変更

顧客目線にあわせて事業分類を変更

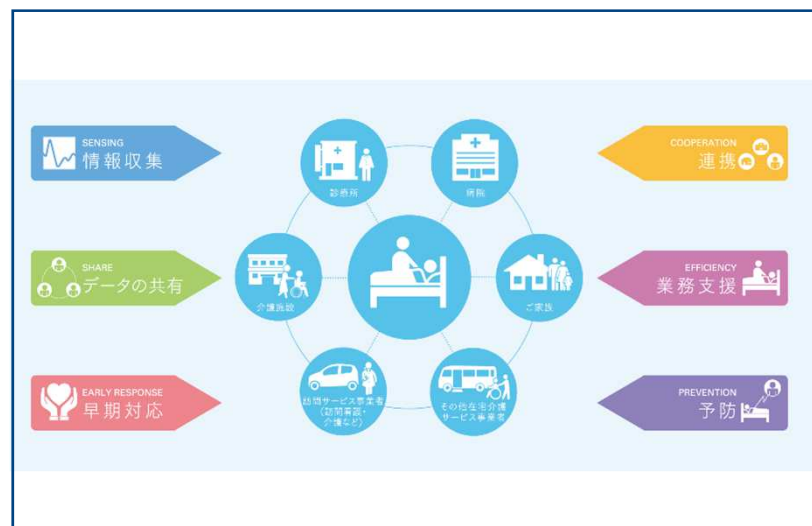
医療事業・介護事業・健康事業の新分類へ



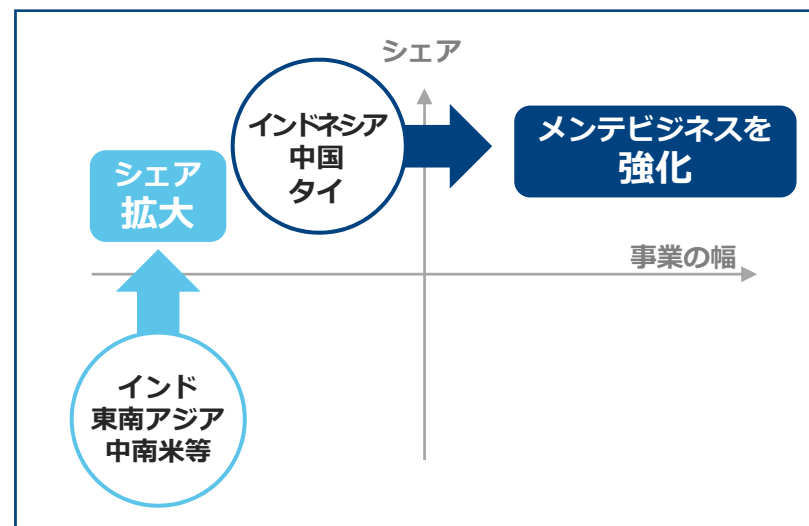
3-7. 新分類①医療事業の主な施策

医療機関のパートナーとして、 医療従事者の方々と共に、患者さんの早い社会復帰を実現

スマートベッドの導入を加速
より安全安心・業務効率化



海外でシェアを伸ばした国はメンテビジネス強化



病院内製品・サービスメニューの拡大
病院の細かいニーズに対応・経営に貢献



3-8. 新分類②介護事業の主な施策

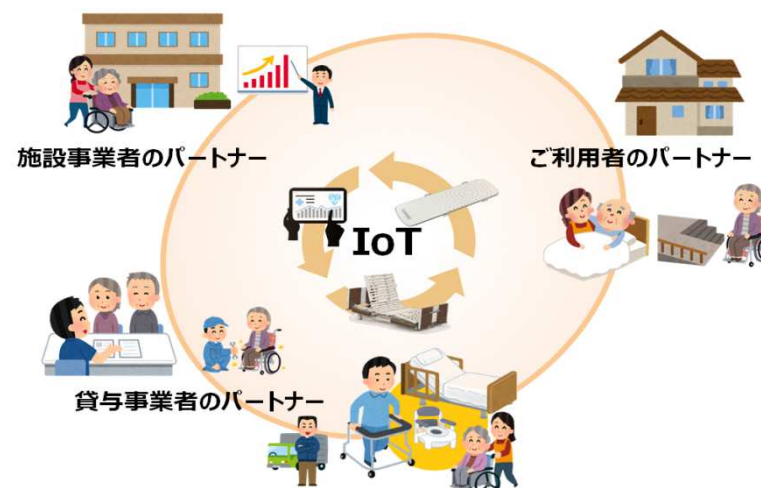
ヘルスケア事業者のパートナーとして、
介護に携わる方々と共に、皆さまの高いQOLを実現

データを活用した
ソリューションビジネスで、
お客様のパートナー企業へ

施設事業者

貸与事業者

ご利用者



介護施設向け

有料老人ホームとの業務提携で
眠りSCANによるデータビジネスへ



在宅介護向け

ベッド以外の
福祉用具の開発強化



3-9. 新分類③健康事業の主な施策

皆様のパートナーとして、
睡眠を中心とした環境提供で、いきいきとした暮らしを実現

睡眠と日中の活動の
関係性を可視化



より健康であること



寝室環境の最適化

「快適なベッドの提供」から

「他の製品やサービスとの連携」 「睡眠データの活用」

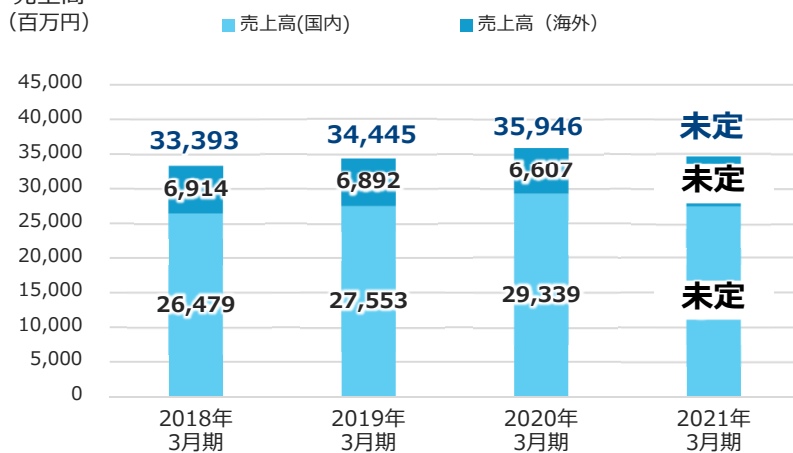


3-10. 新分類① 医療事業の推移

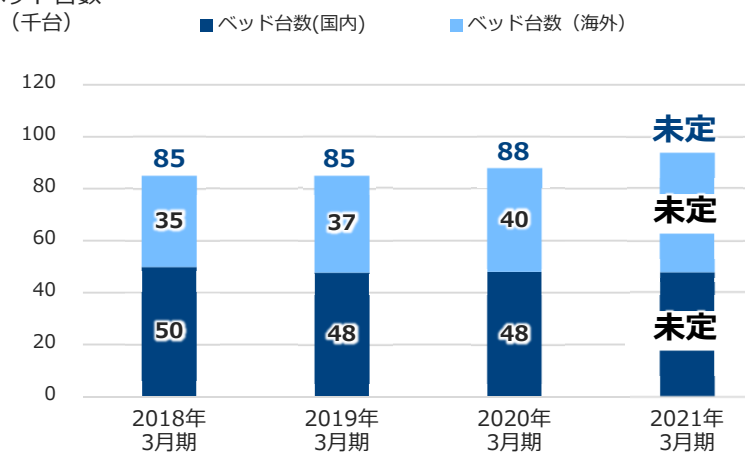
(単位：百万円)		2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年3月期	
					見通し	前期比
売上高		33,393	34,445	35,946	—	—
	国内	26,479	27,553	29,339	—	—
	海外	6,914	6,892	6,607	—	—

(単位：千台)		2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年3月期	
					見通し	前期比
ベッド販売台数		85	85	88	—	—
	国内	50	48	48	—	—
	海外	35	37	40	—	—

売上高
(百万円)



ベッド台数
(千台)

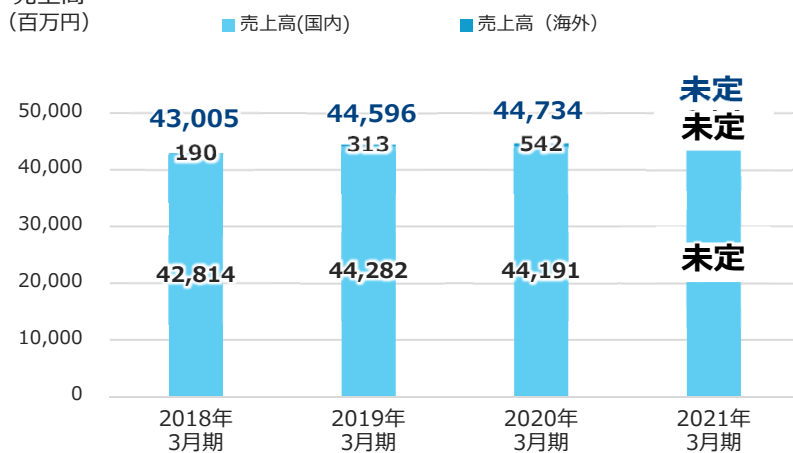


3-11. 新分類② 介護事業の推移

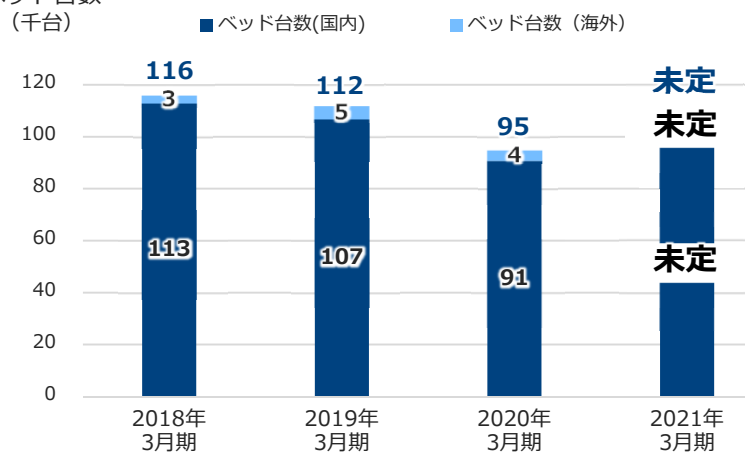
(単位：百万円)	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年3月期	
				見通し	前期比
売上高	43,005	44,596	44,734	—	—
国内	42,814	44,282	44,191	—	—
海外	190	313	542	—	—

(単位：千台)	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年3月期	
				見通し	前期比
ベッド販売台数	116	112	95	—	—
国内	113	107	91	—	—
海外	3	5	4	—	—

売上高
(百万円)



ベッド台数
(千台)

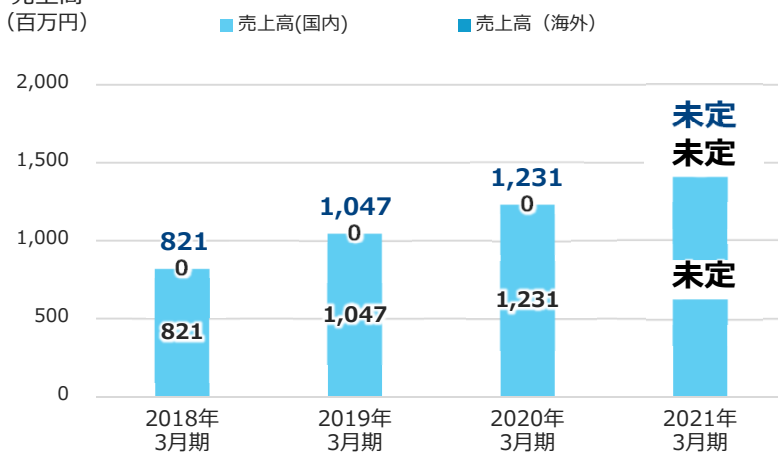


3-12. 新分類③ 健康事業の推移

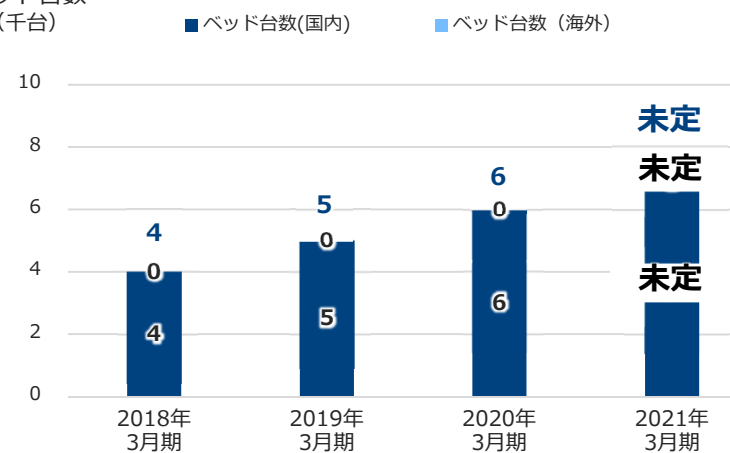
(単位：百万円)	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年3月期	
				見通し	前期比
売上高	821	1,047	1,231	—	—
国内	821	1,047	1,231	—	—
海外	0	0	0	—	—

(単位：千台)	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年3月期	
				見通し	前期比
ベッド販売台数	4	5	6	—	—
国内	4	5	6	—	—
海外	0	0	0	—	—

売上高
(百万円)



ベッド台数
(千台)



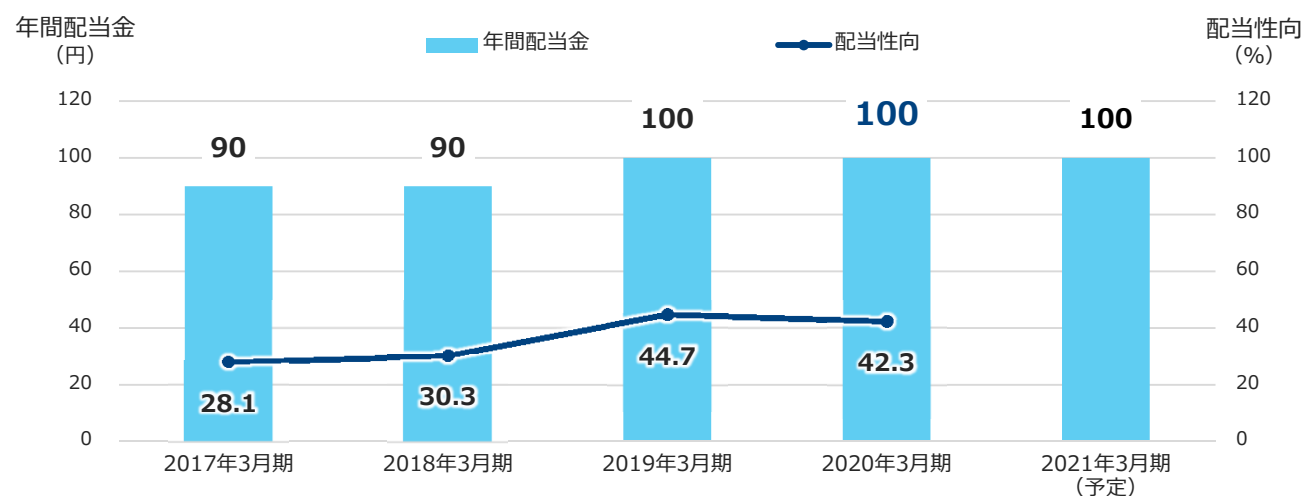
3-13. 株主還元（配当・自己株取得）

**基本方針：純資産配当率 2.7%、配当性向 30%を目安に
安定配当**

2020年3月期 100円、2021年3月期も100円を予定

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 (予定)
年間配当金	90円※1	90円	100円	100円	100円
純資産配当率（DOE）	2.9%	2.7%	2.8%	2.7%	-
配当性向	28.1%	30.3%	44.7%	42.3%	-
自己株取得額	3,331百万円	0円	0円	4,382百万円	-

※1 内、10円は記念配当。



注意事項

本資料に記載した業績等に関する予想数値につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。

従いまして、実際の業績は今後様々な要因により、記載した予想数値と異なる可能性があります。

本資料の金額表示は切り捨て表示しています。

予算比・前期比における％表示は、増減について±記号を用い、四捨五入表示しています。